

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--|-------|------------|-------|---|-------------|-----|
| 科目名 | 対人関係論 | | | | | 開講 キャンパス | 神 埼 |
| 担当者 | 蘭 千 壽 | | | | | | |
| 開講年次 | 2 | 開講期 | 前期 (集中) | 単位数 | 2 | 必修・選択 | 選 択 |
| 授業の概要 及びねらい | 対人関係のあり方によって人間の心理状態や行動は異なる。その逆に、人間の心理状態や行動によって対人関係のあり方が変わっていく。このような複雑さをもつ対人関係を客観的かつ科学的に理解するために、対人関係に関わる基本的な概念や理論を解説する。友人、家族、学校、職場など具体的な人間関係を例にあげて考えていく。さらに、具体的な事例などをとおして、他者理解や自己理解の変化について考える。 | | | | | | |
| 授業の 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 対人関係に関する心理学の基本的な概念や専門用語の意味を理解する。 2) 対人関係に関する心理学の基本的な理論の内容を理解する。 3) 学校、家族、職場など対人行動のパターンや特徴を理解し、その具体例を述べることができる。 4) 特定の友人関係などの特徴を理解し、そのトラブルなどの具体例を述べるができる。 5) ある特定の対人行動や対人関係の背景にある心理過程を理解し説明することができる。 6) ある特定の対人行動や対人関係が心理過程にもたらす変化を理解し説明することができる。 7) 対人関係の歪みやその回復過程などの特徴について理解することができる。 8) 概念や理論構築の基礎となる研究やその背景に関心をもつ。 9) 概念や理論を体験的に理解する取り組みを積極的に行う。 10) 概念や理論の限界や疑問点を指摘することができる。 | | | | | | |
| 学習方法 | 講義、演習的な課題、小グループでのディスカッション、ビデオ視聴、小レポート | | | | | | |
| テキスト及 び参考書等 | テキスト：【教科書】『変わる自己変わらない自己』蘭千壽（著）1999 金子書房、『組織不正の心理学』蘭千壽・河野哲也（編著）慶応大学出版会。事前に読んでおくことが望ましい。追加資料などは授業中に配布する。 | | | | | | |
| 評価基準・方法 | 到達目標 | | | | | 評価割合% | |
| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲・態度 | 技能・表現 | | | |
| 定期試験 | | | | | | | |
| 小テスト等 | ◎ | ◎ | | | | 20 | |
| 宿題・授業外レポート | ◎ | ◎ | ◎ | | | 30 | |
| 授業態度 | | | ◎ | | | 10 | |
| 受講者の発表 | | | | | | 20 | |
| 授業への参加度 | | | ◎ | ◎ | | 20 | |
| その他 | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | 100 | |
| (表中の記号 ◎評価する観点 ○評価の際に重視する観点) | | | | | | | |
| 授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール） | | | | | | | |
| 第1週 | ガイダンス：対人関係論とは | | | | | | |
| 第2週 | 自己1：自己を理解する。自己概念とは。自己の捉え方の理論の紹介。 | | | | | | |
| 第3週 | 自己2：自己概念が人間関係に及ぼす影響を理解する。自己の捉え方と対人行動。 | | | | | | |
| 第4週 | 自己3：自尊感情と自己防衛。健全な自己形成や人間関係における自尊感情や自己防衛の意味や役割を理解する。 | | | | | | |
| 第5週 | 対人認知1：対人認知。印象形成と理性的判断、対人認知の歪み。人間行動の理解の仕方を学び、対人認知の歪みの危険性について理解する。 | | | | | | |
| 第6週 | 対人認知2：自己開示と心の健康の関係について考える。好き嫌いの心理、対人的な好悪の感情がどのように形成されるかについて学ぶ。 | | | | | | |
| 第7週 | 対人関係の発展と解消1：対人魅力、異性ととのつきあいなどについて、対人的な好悪の感情がどのように形成されるかについて学び、健全な関係について考える。 | | | | | | |
| 第8週 | 対人関係の発展と解消2：対人関係の進行・継続と崩壊についてのいくつかの例（友人関係、恋愛関係、仕事関係など）をあげて考える。 | | | | | | |
| 第9週 | 学校における人間関係。生徒同士、生徒と教師といった学校における人間関係の特徴について理解し、学校における望ましい人間関係について考える。 | | | | | | |
| 第10週 | 家族における人間関係。家族や地域社会における人間関係の特徴について理解し、よりよい家族や地域社会のあり方について考える。 | | | | | | |
| 第11週 | 職場における人間関係。会社などの職場における人間関係の特徴について理解する。 | | | | | | |
| 第12週 | 人間関係における共感や思いやりの重要性について学ぶ。 | | | | | | |
| 第13週 | ソーシャル・サポート。ソーシャル・サポートをする側、される側の心理を理解し、よりよいソーシャル・サポートのあり方について考える。 | | | | | | |
| 第14週 | つきあい方の難しい人や、他者との対立による認知の歪みなどのついて考え、それらへの対処スキルなどを考える。 | | | | | | |
| 第15週 | まとめと復習（まとめと理解度確認のための試験を含む） | | | | | | |
| 第16週 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |